

# Unified Contact Center Enterprise ( UCCE ) Peripheral Gateway ( PG ) TCPポート 範囲 割 り当ておよび二重操作

## 目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[重要なシステム番号](#)

[企業 例数](#)

[PG DMP システム ID](#)

[PG 二重/シンプレックス インストール状態](#)

[各 PG ホスト サーバのポート範囲](#)

[ポート インデックス](#)

[PG PGAG テスト他のサイド ポート](#)

[PG MD ポート](#)

[PG OPC 状態転送ポート](#)

[結論](#)

## 概要

この資料は Unified Contact Center Enterprise ( 新しい PG インストールかアップグレードの試みの後で隔離された使用可能状態を、特に維持する UCCE ) の問題識別におけるトラブルシューティングの方法を Peripheral Gateway ( PG ) 記述したものです。この問題の典型的な原因はインストールの間に UCCE アプリケーション インストーラによって割り当てられる不正確な PG ポート番号と関連し、実行をアップグレードします。この資料はまた PG 二重操作を維持するために使用されるポートのリストを要約したものです。

## 背景説明

デュプレックス PG ペアに関しては、PG の OPCTEST status コマンドをどちら側でも実行するとき、OPC ステータスは PG の一方のためにだけ目に見え、反対側は到達可能ではありません。PG ペアの各 PG サーバが単信回線モードの下で単独で動作しているように。

マルチレイヤ データ スイッチ ( MD ) プロセス ログはすべてのクライアントの MD 開始 登録 手続、および二重操作を要求されましたり結局失敗されます示しますが。MD はシンプレックス オペレーションに入ります。

Open Peripheral Controller ( OPC ) プロセス ログは OPC の組み合わせ側が MD 問題が原因でオフラインになったことを示します。

PGAG プロセス ログはまた TOS イベントを示し、反対側が到達可能ではないことを結局受信は MDSプロセス、単信回線モード オペレーション先祖などの MD から報告します

これらが致命的な障害であるので、これらのエラーは PG サービスで回る既定のトレースと明ら

か、すぐに利用できます

ステップを最初に含みますいくつかの基本的なネットワーク チェックを解決して下さい:

1. パブおよび Private NIC の IP アドレス設定のチェック
2. 名前解決
3. ネットワーク接続
4. ウィンドウ ルートテーブル インスペクション

ただし、問題がすべてのステップ一度検討される持続するケースがあります。それからトピックは前にこの時点で開始します。

**注:** この技術情報で参照されるようにすべてのポートは TCP ポートです。

インストーラは PG のためのポート範囲スキーマを広げて置く前に、最初にポート範囲競合がインストールの後でないことを確認するためにサーバの PG インストールを存在することを点検しなければなりません。 場合によっては特に PG サーバのアップグレード、ポートを割り当てられた移行および再インストールが組み合わせる PG サーバの間で組み合わせを誤まることができる後。 不一致はサーバのその既存の ICM インストールが remanence によって多分引き起こされ、カバレッジ インストールは既存環境の上に実行された。

## 重要なシステム番号

PG ポート範囲は据えつけ 時間の中に ICM インストーラによって割り当てられ、値はある特定のファクタに基づいています、企業 例数はそのようなファクタおよび確認すべき最初の事柄の 1 つです。

### 企業 例数

古い Icr connecting\_GeoTel\_ICR 接続 Intelligent Call Management ( ICM ) ソフトウェアアーキテクチャから受継がれて、例数がソフトウェア コンテキストを区別するのに使用されています。 デフォルト値は 0 です。それは通常据えつけ 時間の中に判別されます。 例数がソフトウェアの全体の企業 セットアップを渡って一貫して維持されない場合、ポート番号不一致は確定的に発生します。

`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\\CurrentVersion\InstanceNumber`

例数  $n$  に基づく PG ポート計算

ポート番号 ( 例  $n$  ) = ポート番号 ( 0 ) 例 +  $40 * n$ 。

### PG DMP システム ID

PG DMP システム ID は UCCE 呼び出しルータの PG ペアの指定を判別します、この値のミスコンフィギュレーションにより呼び出しルータと PG 間の通信障害の点では競合を引き起こします。 PG ペアを渡って間違えて設定されれば異なる値は PG ペアが二重を明らかに形成しないようにしません。

`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\\PGXX>\DMP\CurrentVersion\SystemID`

PG1 にシステム ID 1 があります

PG2 にインストーラによって 2 に設定されるシステム ID があります。

PG3 に 3 としてシステム ID があります

## PG 二重/シンプレックス インストール状態

PG が二重操作かシンプレックス オペレーションのためにインストールされているかどうか確認するため。PG ペアの一方がシンプレックス operation とインストールされている場合、PG 間の状態転送は始めることができません。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\ICM\Name>\PG<XX>\NodeManager\CurrentVersion\Dumplexed
```

シンプレックス PG は 0 に値設定 されます

二重 PG は 1 に値設定 されます

## 各 PG ホスト サーバのポート範囲

設計によって、各ホスト サーバに 2 つの PG ノードがあるただ可能性があります。インストーラがホスト サーバの既存の PG インストールを見つけた場合、新しい PG のためにポートの異なるセットを使用するために試みます。

PG のそれにもかかわらず PG DMP かシステム ID はホスト サーバで最初のページ インストールに、インストーラこれらのポートの 43XXX 範囲をインストールします。同じホスト サーバでインストールされる第 2 PG ノードは 45XXX ポート範囲を使用します。IE. PG2 がホスト サーバで PG1 の前にインストールされた場合、PG2 ノードに対応づけられる関連したポートは PG1 が 45XXX ポート範囲を与えられる一方、43XXX ポート範囲をとます。

これはポート ミスマッチが PG インストールの発注と発生する可能性があるところです。

## ポート インデックス

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\ICM\

たとえば、0 第 1 は PG の両側に PG を、ポート値です 0 インストールしました。


```

たとえば、0 第 2 は PG の両側に PG を、ポート値です 1 インストールしました。

## PG PGAG テスト他のサイド ポート

これは PG ペアがプライベート ネットワーク 接続を失い、PGAG プロセスによってパブリック インターフェイスによって TOS メッセージを送信するとき使用されるポートです。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\ICM\Name>\PGXX\DMP\CurrentVersion\PGTestOtherSide
```

たとえば、0 第 1 は PG の両側に PG を、ポート値です 43006 インストールしました。

たとえば、0 第 2 は PG の両側に PG を、ポート値です 45006 インストールしました。

## PG MD ポート

ポートセットはプライベートインターフェイスによって PG 間の高く、中間、低い MD トラフィックに責任がある組み合わせます。

### 高優先順位

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\<Customer  
Name>\PGXX\MDS\CurrentVersion\DedicatedPath\HighPriority
```

たとえば 0 のおよび第 1 PG は PG の両側に、ポート値 43005 です  
たとえば 0 のおよび第 2 PG は PG の両側に、ポート値 45005 です

### MediumPriority

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\<Customer  
Name>\PGXX\MDS\CurrentVersion\DedicatedPath\MediumPriority
```

たとえば 0 のおよび第 1 PG は PG の両側に、ポート値 43016 です  
たとえば 0 のおよび第 2 PG は PG の両側に、ポート値 45016 です

### 低優先順位

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\<Customer  
Name>\PGXX\MDS\CurrentVersion\DedicatedPath\LowPriority
```

たとえば 0 のおよび第 1 PG は PG の両側に、ポート値 43004 です  
たとえば 0 のおよび第 2 PG は PG の両側に、ポート値 45004 です

## PG OPC 状態転送ポート

これは PG ペアが開始するとき OPC が MD によって状態転送を行なうことができるように使用されるポートです。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc\ICM\<Customer  
Name>\PGXX\MDS\CurrentVersion\Clients\opc
```

たとえば 0 のおよび第 1 PG は PG の両側に、StateXferPort 値 43023 です  
たとえば 0 のおよび第 2 PG は PG の両側に、StateXferPort 値 45023 です

## 結論

PG 二重操作に関しては、PG サーバの主要なアップグレード、移行およびカバレッジ インストールが、前述のポートおよび数を検討した後問題が発生すれば状態転送問題は、それらの1つが PG ペアの両側を渡って組み合わせを誤まれるかどうか見ます。